

かけはし

WELFARE INFORMATION

■編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）
平成27年1月15日発行 ■電話（079）662-0160 ■FAX（079）662-0161 ■E-Mail yabu-shakyo@fureai-net.tv
■ホームページ http://www.yabu-shakyo.jp/



未 2015
建屋小学校5年生

明けましておめでとうござります

▲「元気いっぱい 笑顔いっぱい しあわせいっぱい」今年も良い一年でありますように（=12月16日、建屋小学校）

- | | | | | | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| Rくん | Hくん | Hくん | Kさん | Mさん | Kくん | Uくん | Hさん | Yくん | Eくん |
| 「美しい字」 | 「本を読む」 | 「勇気をもつ」 | 「一歩前進」 | 「努力する」 | 「強い意志」 | 「有言実行」 | 「強い心」 | 「美しい字」 | 「七転八起」 |

今年、年男年女を迎える児童10人に新年の抱負を語っていただきました。

「このクラスの一番良いところは、教室に笑顔があふれていることです。笑顔は人を幸せな気持ちにしてくれます」と担任の鴨谷陽子先生。「私は毎日子どもたちから幸せをもらっています。自分のまわりの人を幸せにできる人になってほしいです」とエールを送りました。

これは建屋小学校5年生の学級目標です。「何でも挑戦して、自分を変えて、前に進んで行こう5年生」という思いが込められています。

「レッツトライ、レッツ
チャレンジ、レッツゴー！」

平成27年



福祉のまちへ新しい風



心に誓う新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

本年も広報「かけはし」をよろしくお願ひします。

さて、新年号は、地域の皆さまにご協力いただき、今年の抱負やどのような福祉のまちにしたいか語っていただきました。



寺坂 桂子さん(宿南小学校)

昨年は社協や地域の方のお世話になり、宿南小学校の4年生の子どもたちと「福祉」の勉強をしました。
車いす体験、アイマスク体験、手話教室などをとおして、子ども達の心にまかれた「福祉」のタネ(㊦)だんの(㊧)らしの(㊨)あわせ)が今年も大きく育っていくことを願っています。



小島 知里さん(中米地)

平成25年の夏、以前より関心のあった点訳の講座に参加し、改めて点字文を作ることや読むことの大変さを知りました。
このことが受講生全員の思いとなり「点訳ボランティアあかり」を立ち上げることになりました。
今後は、視覚障がい者の日常生活に手伝えることは何かを見極めながら活動を続けていきたいと願っています。



但馬信用金庫関宮支店(関宮)

山根 慶子さん(㊩)

坂本 佳菜さん(㊪)

尾上 由味さん(㊫)

養父市は高齢者の多いまちで、普段仕事で皆様方と接する機会も数多くあります。その中で私達は大きな声でゆっくりご案内するよう心がけています。

また、毎年「信用金庫の日」の清掃作業や、まつりへの参加など地域に根差した活動にも取り組んでいます。

今後「信用金庫に寄ったら元気になった」と言って頂けるような対応を心がけ、高齢者に親切な福祉のまちづくりに繋がればと思います。



村上 隆司さん (建屋)
 養父市に在住する外国出身者の方を対象にした日本語教室のボランティア活動をしています。言葉の壁で苦労している人の手助けになればと始めたのですが、外国人と日本人の考え方の違いや、改めて日本語の難しさや奥深さを発見し、毎週木曜の学習日を楽しみにしています。養父市が多文化共生のできる心豊かなまちになることを願っています。



森崎 司さん (明延)
 「明延すずの会代表としてボランティア活動や研修会に参加し、人と人とのつながり合いや絆を結ぶ福祉の大切さを学びました。今年も「すずの会」は介護予防活動、体操を中心に、学んだことを活かしながら、皆さんが喜び、楽しんでいただけたら、と考えていきたいと思っています。



絵：松村明子さん (加保)



加森 義男さん (関宮)
 私が一昨年大腿骨骨折で入院し、家内は足が痛み、要介護1の認定です。不自由な身になつて入(ひとしお)に人様の一寸した親切、情が身に沁みます。昨年からたんぼぼの会(介護者の会)に参加し、同じような仲間の話や悩みを聞いて勉強しています。「いい風が吹く、情のある」まちづくりを。



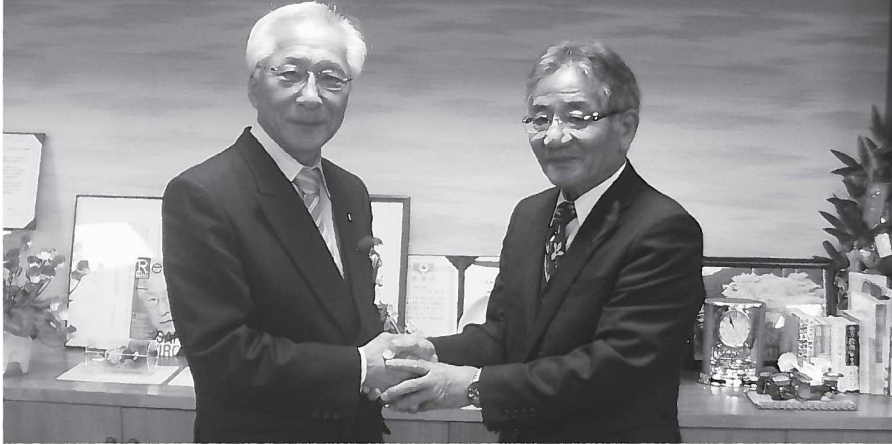
藪中 亜紀さん (宮垣) 玲菜ちゃん
 私の住んでいる地区は、子どもから高齢者まで参加できる行事がたくさんあり、私も福祉委員として活動のお手伝いをしています。そこで大勢の方が参加されるふれあい交流行事を通じて、世代交流の大切さを学びました。

みんなが声を掛け合い、高齢者や独居の方でも安心して暮らせる地域づくりのために、少しずつでも役に立てるよう努力していきたいと思っています。



小橋 宏之さん (旭町)
 日々の暮らしの中で「誰もが笑顔で過ごせる地域」を目指して福祉活動に参加しています。少子高齢化や生活環境の変化等に伴う世代間のすれ違いを、地域行事を催すことで支え合う気持ちや役立つ心を育て、地域がひとつになれる活動を志します。皆さん一人ひとりが、持てる個性を発揮していただき「笑顔になれる」地域である様に願っています。

2015年 これからの福祉のまちづくり



「2015年これからの福祉のまちづくり」と題して、今後求められる地域づくりのあり方や、住民主体による福祉のまちづくりなどについて、広瀬栄市長と小林哲夫会長が対談しました。一部抜粋してご紹介します。

特別企画

広瀬市長と小林社協会長

新春対談

会長 新年明けましておめでとうございます。

市長 明けましておめでとうでございます。今年もよろしくお祈りします。

◆市制11年目を迎えた今、養父市にはどんな福祉課題がありますか。

市長 昨年の3月で合併して10年を迎え、次の新しい10年へ向けてのスタートを切りました。10年の間に市民の気持ちもほぼ一つになったのかなと思っています。その中で、養父市が抱える問題として、人口減少と高齢化があげられます。10年間で養父市の人口は約12%減りました。人が少なくなるといことは、生活の基盤が無くなる、村が維持できなくなってくるということです。故郷、自分の生まれた所で安心して生活して頂けるまちづくりをすることが大きな福祉課題だと思います。もう一つは、少子化による子育ての問題です。若い人の働く場所があり、安心して住め、子育ても地域ぐるみで支えて育てる、高齢者の方も安

心して生活でき、みんなが支え合えるような地域づくりをすることも福祉課題だと考えます。

会長 兵庫県は、「ストップ・ザ・無縁社会」の全県キャンペーンを行っており、こちらで「無縁社会」という言葉をよく耳にしますが、社協でも「第2次地域福祉推進計画」が平成25年度からスタートし、その中でも、小地域での福祉活動を重点化して取り組んでいます。地域に出向きますと、高齢者の方から、買物の問題がよく出ます。地域自治組織の取り組みや、地域の中での支え合いがもっと軌道に乗ってくれば住みやすいまちになるのではないかと思います。

市長 現在、広く無縁社会と言われ、社会全体の構造や生活様式は、人と人とのつながり、絆が強い養父市においてもそれを壊すごとく、お互いの人間関係を希薄にしようという社会の大きな流れが押し寄せていることは事実ですが、養父市は無縁社会ではな

いと思っています。

会長 私もそう思います。

◆日常における交通手段についてはどう思われますか。

市長 便数は少なくなりましたが、バスの路線は維持しています。路線バスがない地域は、市が独自に行う「コミュニティバス」や地域の人が自ら運転する自家用有償バス、高齢者や障がい者などの通院等には、社協の移送サービス（福祉有償運送事業）があり、それらを組み合わせることで社会インフラを整備し、外出しやすい仕組みをつくっています。

買い物については、市内の小売業が「移動販売活性化協議会」を立ち上げ、市として移動販売業者へ支援を行う「地域支え合い買い物支援事業」を進めています。市が販売業者の販売地域を決めて回ってもらい、待ち受けるのではなく、積極的にひとり暮らしの方や高齢夫婦世帯宅へ声かけしてもらうことで、見守りの役割も兼ねてもらっています。

会長 養父市の有償の交通手段、買い物であっても、自分たちの住んでいる所まで来てくれるので、高齢者が外出する機会が増えることにつながりますね。

◆**これからの福祉は関係機関の連携が必要だと感じますがどう思われますか。**

市長 一人ひとりが安心して住みやすい地域づくりを進めるには、縦横斜め、色々なつながりの中でみんなが支え合わなければいけません。その中で、養父市が期待をしているのが小学校区単位にある「地域自治協議会（以下、自治協）」です。市内18小学校区全てに自治協が立ち上がり、それぞれの地域で特徴ある活動をお互いに切磋琢磨しながら進めています。

会長 社協も、自治協と連携を図りながら、お互いに共同していく機関として位置付け、現在、出合校区協議会と事業連携しています。社協は、集落単位で地域福祉活動を行っています。自治協単位の活動にも目を向けて、各

▲「支え合いのまちづくりにには行政と市民、全てが一緒になることが大切です」 広瀬市長



地域の特性を把握しながらこれから一緒に活動を進めていきたいと考えています。

市長 自治協が自立し、自ら進んで活動していくような働きかけを社協には進めて頂きたいと思っています。

会長 小地域の福祉活動の終局は、それぞれの集落、自治協単位で自発的な活動に向かってもらうことで、その手助けが社協の使命だと思っています。市長のお話を聞き、意を強くしました。

来年度の介護保険制度改革、生活困窮者自立支援制度などの対応も、社協が、行政がではなく、関係機関全てが連携して行わないと、これが

ら先の福祉は、特定一極だと無理が出てくると思います。関係機関と一緒に連携する中でのまちづくりを目指さなければいけないと思います。

◆**近年多発している災害、またボランティアについてどうお考えですか。**

市長 温暖化の影響による気候変動で、信じられないような局地的豪雨で大洪水、山崩れによる大きな被害が今年も、丹波市、広島県や福知山市で起き、御嶽山の噴火もありました。緊急時は自助・共助、本格的な復旧になると公助が絶対欠かせません。最近では、大きな被害が起ると全国からボランティアが駆けつけてくれます。

そのボランティア受付をする災害ボランティアセンターの仕組みづくりの中核を担うのが社会福祉協議会です。ボランティアセンターから共助はスタートすると思っています。ですので、社協との連携は欠かせませんし、社協の位置付け、働きは非常に大きいと思っています。

会長 ありがとうございます。それには社協が行政区単位の設置している福祉委員の働きが欠かせません。昨年の台風11号が接近した時にも各

地域の福祉委員が積極的に動いて情報収集し、提供してくれました。これは、まさに社協が目指したものです。今、社協も災害ボランティアセンターの運営マニュアル作成に取り掛かっています。マニュアルから外れた時はどうするか、その時は、市と連携、相談しながらマニュアルのない部分を補わなければいけないと思うので、ご協力ご指導をお願いします。

市長 社協が組織した福祉委員の役割は非常に大きなものだと思っています。また、社協と福祉連絡会で作成された福祉防災マップが、市の防災マップと結びついたことで、非常に効果的なものとなりましたので、今後も対象者の更新等継続していただきたいと思っています。これがまさしく自助につながり、地域住民の災害に対する意識が、生活の一部と

して身近に感じられるので価値あるのだと思います。

◆**最後に一言**

市長 これからのまちづくりは、国が設置した地方創生を十分に活用し、10年後、20年後の長期的視点で養父市を創生していきたいと思っています。これは、行政だけではなく、地域住民、社協をはじめとする支え合いの仕組みづくりをする組織全体、地域全体でその方向に向かっていきたいと思っていますので、今後ともぜひご協力をよろしくお願いいたします。

会長 市と社協が目指す部分は同じだと思います。行政と連携のもと、今後ともどうぞよろしくお願いします。



▶「これからの福祉は各関係機関の連携が必要です」 小林会長

認知症啓発事業

ペコロスの母に会いに行く上映会

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、より多くの方が認知症について理解することが必要です。

今回は、広く市民に認知症への関心や理解を深める機会として、映画上映会を開催します。

日時 平成27年1月31日(土) (※上映時間 113分)
 1回目 開場/13:00 開会/13:30 上映/13:40
 2回目 開場/18:00 開会/18:30 上映/18:40

会場 養父市立ビバホール (養父市広谷 250)

料金 500円 (高校生以下無料)

主催 養父市社会福祉協議会

後援 養父市 養父市教育委員会
 養父市民生委員児童委員協議会連合会
 養父市人権教育推進協議会
 兵庫県立但馬長寿の郷
 認知症の人と家族の会兵庫県支部



※チケットは社協各支部でお求めください

※この事業は赤い羽根共同募金配分金を活用しています

子育てサロン・放課後プレパークの案内

●子育てサロンそよ風

日時 1月26日(月)
 2月2日・9日
 16日(月)

場所 ふれあいいきいき
 サロンそよ風

●子育てサロン高柳

日時 1月28日(水)
 10:00~11:30

場所 高柳ふれあい倶楽部

●子育てサロン伊佐

日時 2月2日(月)
 10:00~11:30

場所 伊佐ふれあい倶楽部

●子育てサロンすすく

日時 2月10日(火)
 10:00~11:30

場所 三宅団地集会所

◆大屋放課後プレパーク

日時 2月2日・16日(月)
 14:30~16:00

場所 大屋小学校

◆関宮放課後プレパーク

日時 2月13日・27日(金)
 14:30~16:30

場所 まちづくり交流センター「関の館」
 多目的ルーム

養父市社会福祉協議会

経営・組織整備、
 基盤強化を図る

組織経営検討委員会を設立

平成26年12月16日、地域

交流センター「福祉の杜」

で、第1回組織経営検討委

員会を開催しました。

平成20年度にも組織され

たこの会は、社協の健全経

営・基盤整備の強化を図

り、「誰もがその人らしく

地域で安心して暮らせるま

ちづくり」を事業展開する

ために設置され協議検討を

すすめます。

委員長 橋本 幹夫 (社協理事)

副委員長 井原 弘志 (社協理事)

委員 小林 哲夫 (社協理事)

藤原 孝市 (社協理事)

橋本 茂良 (社協理事)

梶井 逸郎 (学識経験者)

藤本浩一郎 (学識経験者)

長島 薫 (学識経験者)

敬称略

今月の かけはしさん



ながやま 中山 正さん
(能座区長)

私たちの地域も高齢化が進み戸主の80%が老人クラブの会員となっております。高齢になるとどうしても引きこもりがちになるので、色々な行事に参加をしていただき、人とふれあう機会を作るようにしています。

今年度からは民生委員が中心となり福祉委員会活動に取り組み、花まつり、七夕、ひな祭お茶会などを計画し、大勢の方に参加をしていただいています。

独居・高齢者家庭の定期訪問なども行い、安心で住み心地の良い地域にしていきたいと考えています。

善意銀行だより

平成26年11月16日〜平成26年12月15日(敬称略)
 預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています

- ▼**香典返し**
 - 川西 片山伊知郎 10,000円
 - 大薮 服部美津子 30,000円
 - 野谷 安積 浩二 30,000円
 - 能座 村上 勝則 30,000円
 - 大屋市場 野崎 修作 50,000円
 - 門野 谷岡 博文 30,000円
 - 三宅 西谷 正之 30,000円
 - 匿名 1人 20,000円
- ▼**善意の寄附**
 - 南谷小学校昭和23年度卒業生 3,000円
 - 養父市役所職員組合女性部 金一封
 - 匿名 1人 5,000円
- ▼**チャリティバザー収益金**
 - 伊佐校区自治協議会文化部会 26,000円
 - 但馬長寿の郷 まごころクラブ陶芸部 30,000円
- ▼**歳末たすけあい指定預託**
 - みふね陶芸講座生一同 とが山陶芸クラブ一同 7,260円
- ▼**船谷、三谷地区における 托鉢浄財(歳末たすけあい指定預託)**
 - 高野山真言宗 但馬青年教師会 63,000円
- ▼**金婚記念**
 - 旭町 谷垣 仁司 50,000円
- ▼**物品の寄附**
 - 朝倉 マフラー 中島 光子
 - 大森 ソファ 竹浦 和枝
 - 森 紙おむつ 田村 充伸
 - 栗ノ下 かぼちゃ 井原 為之
 - 大屋市場 座車テーブル 長瀬 邦彦
 - 蔵垣 さつまいも 上垣やえみ
 - 夏梅 葉ほたん 鎌田 肇
 - 加保 白菜 大根 馬場 節



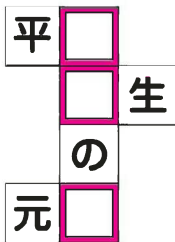
▲伊佐小学校児童会から全校朝礼時に募金を受け取りました(=平成26年12月2日)

養父市内の各学校でも 赤い羽根共同募金活動
 市内の小・中・高等学校、看護学校など11校から共同募金にご協力をいただきました。

- 蔵垣 松原 健一
- ねぎ 田淵 務
- 丹戸 じゃがいも 9人
- 匿名 紙おむつ 肌着 くつ下 レッグウォーマー ルームカバー 頭巾 ネットクウ オーマー もち米 大根 白菜 ねぎ カセットテープ
- かぼちゃ
- ◆**寄附金合計** 41万4,320円
- ありがとうございました。

図書館カードが当たる! パズルゲーム

□にあてはまる漢字3文字を考えると、ことばを完成させましょう。
 ■ヒント 昔は、1月15日。今は、1月の第2の月曜日といえは?



■**応募方法** はがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、ふりがな、年齢、電話番号、「かけはし」をご覧になったご意見・ご感想をお書き添えの上、ご応募ください。
 正解者の中から抽選で5名さまに図書カードを贈ります。

■**応募先** 〒667-0002 養父市八鹿町下網場320 「福祉の杜」内
 養父市社会福祉協議会 FAX 66210161

★前回の答えは 『柚子湯』でした
 塚本美年子さん(虹の街)
 内田 秀行さん(万々谷)
 岡本 弘子さん(大坪)
 山根 照子さん(栄町)
 西垣智加子さん(和多田)
 以上5名の方が当選されました。おめでとうございます。

総合相談所のご案内

いずれも相談無料

心配ごと相談・結婚相談

13:30～16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありますか？

- ◆ 1月23日(金) 関宮ふれあいの郷
- ◆ 2月6日(金) 地域交流センター「福祉の杜」
- ◆ 2月13日(金) 社協養父支部
- ◆ 2月20日(金) 大屋保健センター

弁護士による無料法律相談

13:30～16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 平成27年3月18日(水)
- 場 所 社協養父支部
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部 電話 662-0160

くらしの法律相談

8:30～17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、福祉サービス利用援助事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月～金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。



松井 優岳ちゃん 3歳7カ月
彩渚ちゃん 8カ月
(小城・兄妹)

うちげえの

宝

お母さんの里実さんに聞きました♪

◆名前はどのようにつけましたか？

優岳は、優しくたくましい男の子に。彩渚は、明るく親しみやすい女の子に育ってほしいと思い名づけました。

◆今、興味をもっていることはなんですか？

優岳は、おままごとでお弁当をよく作ってくれます。彩渚は、何にでも興味津々。特にお兄ちゃんの遊んでいる物がお気に入り。

◆ご両親から一言メッセージ

お調子者だけど、妹思いの優しい優岳。好奇心旺盛で元気いっぱいの子彩渚。いつまでも2人仲良く元気に大きくなってね。

みんなの手話教室 第11回「曜日の表現編」

手話は、手指の動きや表情、動作などで表す目で見える言葉です。耳が不自由な人とのコミュニケーションだけでなく、様々な場面で広がってきています。今回は、八鹿手話サークルの佐々木さんから曜日の表現の手話を教わりました。

●私の休日は土曜日と日曜日です



ひとさし指で自分を指す「私」



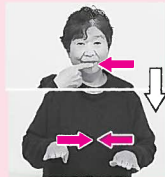
両手のひらを下に向け、左右から合わせる「休む」



砂や土をつまむ形をして指先をこすり合わせるように動かす「土曜日」



両手ひとさし指の指先を合わせる「合う」は「と」を表す



ひとさし指で唇に触れて「赤」と「休む」を合わせて「日曜日」

ワンポイント

手話で大切なことは、伝えたいことを正確に分かってもらうことです。声を出しながら動作はゆっくり大きく、表情豊かに表しましょう。

関連単語



各曜日は、次のように表します

【月曜日】



親指とひとさし指をつまむように肩の上から三日月をつくるようにおろす「月」

【火曜日】



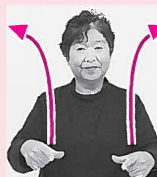
「赤」の手話のあと、手を開き上にクルクルしながら上げる「火」

【水曜日】



手のひらを上に向け波をうつように右に動かす「水」

【木曜日】



両手で輪を作り、広げながら上にあける「木」

【金曜日】



親指とひとさし指を合わせ輪をつくり、軽く揺らす「お金」



この広報紙は共同募金配分金が使われています。